

福祉常任委員会におけるやちよケアマネ・ネットワークとの懇談会報告書

- 1 開催日時 平成26年8月20日（水）午後2時
- 2 会 場 市役所 4 階第 2 委員会室
- 3 テ ー マ 八千代市における介護支援の現状と課題

4 参加者

(1) やちよケアマネ・ネットワーク 役員 11 名

市内において質の高いケアマネジメントの実現のため活躍している、100 名以上で構成されるケアマネジャーの職能団体である。今回の懇談会では 11 名の役員の方々にご参加いただいた。

(2) 八千代市議会福祉常任委員

委員長	正 田 富美恵	副委員長	河 野 慎 一
委員	坂 本 安	委員	原 弘 志
委員	堀 口 明 子	委員	皆 川 知 子
委員	横 山 博 美		

5 開催の趣旨

超高齢社会を迎えたわが国においては、2025年を目途に、高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しているところである。

八千代市においても現在、この地域包括ケアシステムの本格的な整備に向けた準備を行っているところであり、こうした状況の中、福祉常任委員会においても、質の高いケアマネジメントの実現のため活躍しているやちよケアマネ・ネットワークと意見交換を行うことで、今後の委員会活動に活用するため、上記テーマで懇談会を開催した。

6 懇談会の経過

本委員会委員及びやちよケアマネ・ネットワークの自己紹介の後、フリートーク方式での意見交換を行った。

行政との意思疎通をより緊密にすることはもちろん、他の組織とも連携することが重要であるといった意見や、介護保険外におけるサービス提供、各事業所間で人員を補充し合える人材バンクの設置についての議論が交わされた。

1時間30分にわたる活発な意見交換がなされ、本委員会委員からは、現場から吸い上げた声を活かして、議会としても行政を後押ししていくべきとの意見などが出されたところである。

7 懇談会を終えて

後日、委員会協議会を開催し、委員間で総括的な意見交換を行った。

専門的な知識や経験を持ち現場で活躍している団体との懇談会は、貴重な意見を聞くことができる場であり、非常に有意義なものであった。こうした生の声を執行部へ届けることで、本常任委員会が市民と行政の架け橋になれると期待できる。今後も様々な団体と懇談会を開催したいとの意見があった。